



中国やベトナムをはじめとする世界の情報を発信しています

中国情報 (INFORMATION CHINA)

2011年12月号

発行: 国際ビジネス情報協同組合

日本は、『震災』『タイの洪水』『円高』と三重苦の上に『オリンパスの損失隠し』『大王製紙井川会長のカジノ 100 億円借金』で、日本企業の信用に低下をもたらしました。

欧州では、ギリシャの財政不安に端を発したユーロ危機から目を離すことが出来ません。

日本企業は洪水も収束に向かうタイでホンダを除くトヨタをはじめとする各自動車各社がようやく製造を始めました。

問題なのは、円高・米国経済の低迷・欧州のユーロ問題です。日本、世界で起こっている問題は決して他人事ではありません。企業にせよ、個人にせよ世界経済の影響を受けるのですから…

来年の為に今を頑張る姿勢が必要ですね!!

～12月号掲載内容～

- *日本経済・投資資金の流れ
- *TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)
 - *輸出
 - *東京都、電力供給に参入
 - *民意
 - *日本の税金
 - *米国経済
 - *欧州経済
 - *対ドル
 - *中国元と不動産
 - *中国不動産事情
 - *中国金利の引上げ
 - *中国のホテル需要
 - *よもやま話
 - *大連出張

中国に関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

日本経済～投資資金の流れ

11月24日、日経平均株価が8,200円を割込み、2年8ヵ月ぶりに安値をつけました。その理由は欧州の信用不安など多々ありますが、投資資金はどこに向かったのでしょうか？

外国銀行から預け入れられた資金は前月比で17%増え、平均残高で7兆2千7百億円増加しています。これは日本ばかりではなくユーロ圏でも欧州銀行に預け入れられています。

23日現在では24兆3千億円、実に2週間前の2倍に積み上がったのです。このようなリスク回避が強くなると、株式市場が低迷し混乱を招くことが予想されます。

TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）

英語では【Trans-Pacific Partnership】【Trans-Pacific Strategic Economic Partnership Agreement】と呼ばれていますが、経済連携協定 EPA：(Economic Partnership Agreement) の一つです。また、日本語訳では環太平洋経済協定、環太平洋連携協定、環太平洋経済連携協定、環太平洋パートナーシップ協定とも言われています。

この協定は加盟国間の工業品、農産品を含む全製品の関税障壁を撤廃することとしており、ニュージーランド4ヵ国が既に連結し運用しています。現在日本を含め、米国・オーストラリア・ベトナム・ペルーが参加を表明しています。

日経新聞によれば、国民の43%が賛成で反対を上回っているらしいのですが果たしてどうなのでしょう？ まず、メリット・デメリットを細部を除きザックリ考えてみましょう。

【メリット】

日本は資源が無く、技術革新を行い成長してきた国で貿易立国です。日本製品が自動車をはじめとするあらゆる工業製品について、米国及び参加表明の各国に負けるのではなく、関税を撤廃することについて有利性はあるものです。

【デメリット】

問題になるのが農業です。安い小麦や肉をはじめ、農産品は打撃を受けることは確実です。また、米国は虎視眈々と日本の金融資産を狙っています。日本は現在の官僚や農協が支配し農業施策をしてきました。これは長い政治の中である意味では過保護、ある意味では政治の農協に対する保護で真の意味で農業施策ではありません。小規模農家の保護ばかりを育てて来たのですから、米国・豪州・カナダに負けるのは当然です。

卑近な例を挙げると、私の両親は果樹農業をしていました。兄が若い頃話したことですが「今の政策では大規模な農業は出来ない」「なぜ小さい農家ばかりを保護するんだ」「将来農業が出来なくなる」と悩んでいました。因みに3町歩(90,000坪)以上の耕作面積がありました。

またこんな事も言っていました。「当時の農水省の奨励する農業と反対の事をすれば農業は延びる」とも言っていました。小規模でも彼は長男に跡を継がすことが出来なかったのです。

農水省は過去において「米を作りなさい」、その結果激反政策、「みかんを作りなさい」、その結果は飽和状態で現在は四苦八苦です。農協は農業者のためでなく、農協のためにあり農業者からお金を巻き上げる組織なのです。

政府はこのことを良く知り、『真の意味での農業のための施策』を取れば日本の農業は発展できる余地はあります。農協のために TPP を反対するのは如何なものでしょうか!?

一方、米国が TPP で望んでいることは金融、特に郵貯銀行から金を巻き上げること、中国を封じ込めることなどです。一生懸命働いた果実を巻き上げることが目的としているのですから、政府間の交渉において強い態度で「出来ることは出来る」「出来ないことは出来ない」と主張することが必要です。増してや2枚舌を使うなどもっての外です。

輸 出

東日本大震災の落ち込みから持ち直し傾向にあった輸出は、ここにきて伸び悩みをしています。10月に財務省が発表した貿易統計によると、輸出額は前年比3.7%減5兆5千億余りとなり、3ヵ月振りにマイナスとなっています。貿易収支は2,338億円の赤字でこれは2ヵ月振りのことです。この原因は円高に伴うシフト、円高よりも海外での需要が落ち込んでいるためで、地域別では米国・EU・中国を含めアジアのいずれも減少しています。一方海外からの配当は増加傾向にあります。

東京都電力供給に参入…電力会社に風穴か

東京都は2014年を目処として電力供給事業に参入します。

東京電力の送電を使わず民間事業者の発電施設周辺に直接電力を送るというものです。

都は臨海副都心内に総延長6kmの送電線を、地下の水道管やガス管等をまとめて収納する共同溝を利用し、送電線を6億円で敷設することに決めたのです。

都は発電施設を運営する民間業者から公募し、発電設備導入費の一部を助成する。(日経新聞から抜粋)

日本における送電線は電力会社の独占となっており、これにより電力事業が特定の者しか出来なくなっています。このため官僚の天下りや政治家の資金供給先となっており、悪評が後を絶たないです。例えば、関電プラント(旧関電工業)は有り余った利益を回避する会社です。

電力事業において「送電線と発電施設を別会社にし、自由化し競争原理を入れるべきだ」という意見が相次いでいるが、今回の都の事業は小さいながらもまさにこれに風穴を開けるのではないかと期待されている。

民 意

関西では日本国内で大きく取り上げられた大阪W選挙で大注目されていましたが、大阪維新の会から市長には橋下徹氏が市長に、知事には同じく大阪維新の会の松井一郎氏が当選しました。これは一体何を表しているのでしょうか？

民主・自民・共産など既成政党が束になって掛かって行っても勝てなかった…その理由は大阪維新の会あるいは橋下氏の魅力や政策だけでしょうか？

それは日本政治への不信や官僚を含め現状の中で温々としていた役人の根性に対する不信感でしょう。「何かを変えなければ、何かで変えなければ日本は沈没してしまう」こんな危機的状態が無党派層にもひしひしと感じさせ、結果として前回よりも17.31%の投票率を高め、自民・民主・共産が推す人であるか否かに関らず両名に投票したというのが真の姿でしょう。

大阪在住の方の中には、「天王寺区と生野区が合併するのは嫌だ」「橋下は高層が好きなだけ」「大阪維新の会は味方以外は全て敵と決め付けてやり方が強引過ぎる」との声も聞きます。確かに大阪府庁を南港に移す為にコスモタワーを買い取りましたが耐震補強が不十分に失敗に終わりましたが、大阪維新の会を嫌がる方も結構多いようです。

また、橋下氏のことを「ポピュリスト(大衆迎合主義者)」とか、知ったかぶりや言葉遊びをしている、いわゆる「識者」と言われる人がいますが、日本はそんなに平和ボケをして安閑としていられる状態ではありません。やはり余程の言葉でぶつかなければ伝わらないのかも知れません。まだ若く人気も勢いもあり、大阪を変えたいという熱い思いが大阪府民に伝わったのでしょうか。これを機会に、国・自治体・政治家・官僚・役人が最大限の自覚を持って欲しいものです。

日本の税金

税金は高いほうが良いのか、安いほうが良いのか…

このことを記述する前に、あなたの家庭で次のことが起こればどうしますか？

家庭で不幸な交通事故が発生しました。あなたは被害者ですが相手は保険に加入しておらず、病院代などの支払いをしなければなりません。その額は数千万円になり借金することになりました。これからの生活はどうしますか？

① まだまだ借金を重ねる

② 生活を切り詰める

普通の家庭では当然②の方法をとるでしょう。

これを国に置き換えてみて下さい。

今、日本全体の借金は約 1150 兆円あります。(日本国民約 1 億 2745 千人で平均すると、1 人当たり約 900 万円の借金があることになる) 今、この国がしなければならない事は何でしょうか？一番は家庭でいう「節約」です。

もう少し話しを進めると、東北の震災で復興資金を国債(借金)で賄うことにしました。この返済期間が 25 年です。また、一方で消費税を 10%に上げようとしています。社会保障費が要るからなどの眼くらましで、この上借金の上に増税すればどうなるのでしょうか？

歴史が語ります、少し歴史を見てみましょう。

オイルショック後の増税した英国、反対に赤字財政の中で減税した米国のレーガン、ロシアのプーチン、結果は減税で経済が発展し税収も伸びた米国・ロシアです。

日本も消費税が導入された 89 年を境に経済にブレーキが掛かりました。経済が落ち込めば税収が減る、言い換えれば増税すれば税収が減るのです。官僚や政治家はこの構図が分からないのでしょうか？ 悪行きの連鎖です。その上何を節約したのでしょうか？

例を挙げると、野田総理は公務員宿舎、財務大臣時代公務員宿舎建設再開を認め総理になった後、社会のあまりの批判に「再凍結」(その後止めざるを得なくなりましたが)しました。これは役人が一般国民のことなど考えておらず、役人は節約をしないのにツケは国民に回す…自分達の利権を確保したいだけの象徴のようなものです。

ざっと 1175 兆 6000 億円、国民 1 人当たり 922 万円、まだその上に借金を重ねようとしています。国債の発行残高に占める国民総生産の割合は 200%超、各国に比ベグンを抜いて多く歴史を創れるかもしれないね。

ドル資金供給で協調…欧州金融危機対応

11 月 30 日、欧州の債務危機から国際金融市場が危機回避のために、日米欧の中央銀行が協調対応策をまとめた。この内容は米国が中央銀行にドル供給をする場合の金利を 0.5%引き下げ、金融機関が用意にドルを調達できるようにする。これは欧州国債の利回りの急騰や銀行取引間金利の上昇に歯止めをかける狙いがある。協調対応策を決めたのは、日銀・欧州中央銀行・米連邦準備理事会・英・カナダ・スイスの 6 中央銀行であります。これにより、欧米化株が急騰している。

米国経済

米国では 11 月 25 日からクリスマス商戦が始まり、買い物客で長蛇の列をつくっています。この時期が感謝祭で殆どの店がバーゲンセールを始めています。しかし失業率は高止まりし購買力が今ひとつです。

11月の中間選挙でオバマ大統領率いる民主党が大敗し、共和党が躍進しました。この主たる原因は米国の経済状況であり、特に失業率が高いことが大きく影響をしています。

【失業率】

アメリカ 9.1% 日本 4.1% 韓国 3.2% イギリス 8.1% ドイツ 6.1%

フランス 9.1% イタリア 8.0% ロシア 6.1%

季節変動など調整後の数値(インターネット)

欧州経済 (ユーロ圏)

ドイツは欧州経済中で一番信用できる国であると言われてきました。11月24日のドイツ国債の入札において「札割れ」が発生しました。

※ 札割れとは募集額に投資家の需要が届かないことです。

募集の額は60億ユーロ(約6200億円)に対して、応札が39億ユーロ、不足比率は3分の1、これは異常というほかありません。最もドイツは日本と違い、証券会社などの入札参加者の引き受け業務が弱いことを差引いても高い数値です。

これまで投資家は債務不安が強い南欧国債を売り、資金の投資先としてドイツ国債を買うというパターンが消えました。こうした背景にあるのは債務不安の広がりであり、イタリア・フランス国債価格が下落基調にあるのに効果的な対策は打たれていないことです。

12月に入ると、スペイン・イタリアの国債の売出しに注目する必要があります。円対ユーロでは本年7月の相場1ユーロ117円前後から、現在は103円と目を追うごとに安くなっています。

対ドル

円相場はこのところ安定した高値(対ドル)に推移しています。

10月末に海外市場で戦後最高の高値75円32銭をつけ、11月31日から史上最大の円売り介入を実施し79円55銭まで急落しましたが、その後77円台をつけ高値で安定しています。

政府は円高対策として資金繰り対策を講じているが、震災後の脆弱な日本経済を脅かす構図に変わりありません。円換算で90兆円超の外貨準備を活用する構想が持ち上がり、外貨準備で海外投資をする仕組みであります。

丸紅はパプアニューギニアで、九州電力は豪でLPGの権益に向けた融資契約を締結したが、その後も円高の構図は変わらず国内景気は相変わらず厳しい状況にあります。

第2弾目として、年金資金を海外に向けられないかとのことであつたが、消費税引上げを決めた直後であり国民理解が得られないとのことでベンディングとなっています。

このようなことであることから考えると、少なくとも暫くは円高が続くと想定をしなければなりません。

中国元と不動産

アメリカドルのみと連動していた制度を改め、アメリカドル・日本円・欧州ユーロ・韓国ウォンを主要通貨に、シンガポールドルなど11の通貨による通貨バスケット制度に移行したことは既に記載しました。

現在1元は12.1円位で、一時の11.9円から上昇しています。対ドルでは現在1ドル6.4位で推移しています。中国元の上昇について人民銀行(中央銀行)が「早いペースで上昇させない」という指示を出しているからです。

中国の不動産事情

中国の不動産はバブル現象だと言われて長くなりますが、未だに「弾けた」とまでは聞きません。11月に大連に出張し不動産を見てきました。

空港から人民広場(大連市政府)を通り、中山広場に行くまでに高い建物が見えます。これは数年前に韓国の現在(ヒュンダイ)が建てかけて長らく放置していた建物です。この時は資金が無く完成出来ないと聞きましたが真偽のほどは分かりません。現在は銀行の物になっています。

ここから友好広場に行くと、基礎工事や完成間近の建物が幾つかありました。場所は日本人がよく利用するラマダホテル大連(大連九州美達酒店)の隣接、その斜め前のビルです。

知り合いの何人かに聞いてみると、銀行から貸してくれるはずの資金が、政府や銀行の締付けによって調達出来ないと建設途中で工事が止まっているという事です。

また悪質業者により、マンションの建築前の計画の段階で一般からお金を集めドロンする者もいるそうです。それではマンションは安くなっているのかと聞いてみると、一時は下がりましたが今は落ち着いています、しかし売買の事例が非常に乏しいのは事実です。

その理由は、従来頭金(自己資金)3割、後は銀行が融資してくれましたが、これがここに来て頭金が4割から6割を用意しなければならなくなり、金利も6%から8%と高くなっています。しかも銀行は中国政府の政策で資金の回収を余儀なくされ、貸し渋りどころか回収に走っているようです。事実上、自己資金がないと不動産を買えない現象が起こっています。

こんな事情ですから中国不動産はバブル現象から奈落へ落ちるとの観測は少し早合点ではないでしょうか?

以前にも記載しましたが、まず中国のマンション、ビルの建物を建てる前に土地を確保しなければなりません。土地は各地方政府のもので借り受けなければなりません、この借り受けは原則的には入札により決まります。この借地権代が地方政府の収入となり、この上に業者が建て売却します。借地権代を減らすと政府の財政が賄えません。(日本やアメリカなどの資本主義国家と違うのです。) この借地権代が中国の不動産価格に跳ね返るので、一定の金額以下に安くなるとは考えにくいのです。安くなれば銀行が破綻し中国そのものが崩壊します。

日本のようにバブルが弾けないもう一つの理由は、政府が共産主義国家で強権を持っており、金利の統制・為替の統制など自由に操作できる為、市場原理が働く事が非常に制限されています。今回の貸し渋りは、不動産価格や物価の以上な上昇を抑える為の「強権の発動」というのが正しいのではないのでしょうか? かと云って不動産価格が今までのように上昇することなく、中国の不動産価格は各都市において調整段階にあると考えるのが正しいと思われます。



元現代建設建物、現在は銀行



雨に煙る大連駅

中国金利の引き上げ

中国人民銀行は19日、2010年10月20日から金融機関の人民元建ての預金及び貸し出しの基準金利を引き上げると発表した。期間1年の貸し出しの基準金利は0.25%引き上げられて、原稿の5.31%から5.56%となる。普通預金の金利は据え置きとし、その他の預金や貸し出しの基準金利はそれぞれ調整される。

人民元が金利引上げを行ったのは07年12月以来約3年振り。07年は過剰な流動性とインフレ加圧に対処する為、人民元は預金・貸し出しの基準金利を6回にわたって引き上げました。08年9月以降は、国際金融危機に対処する為金利引き下げに踏み切り、貸し出しの基準金利引き下げは5回、預金の基準金利引き下げは4回に及びました。(人民網日本語版より)

3年ぶりの金融緩和策で11月30日に金融緩和を発表した。これは3年ぶりで預金準備率を12月5日から0.5%引き下げるというもの。これにより四苦八苦している中小企業の資金繰りを回避する狙いがある。

中国のホテル需要

中国はホテルの建設ラッシュで供給が需要を上回り始めました。これに伴い客室単価も安くなる傾向が見られるようになってきました。

平均稼働率は60.3%でアジア主要15カ国の中で14位となっています。平均の客室単価は上海で604元(約10,000円) 今年5月から低迷をはじめています。

去年は、観光やビジネスを含め外国人の宿泊数は、フランス・アメリカに次ぐ世界第3位となっています。低迷が続く理由は、中国の景気が減速し出張者が減った、また欧州の債務危機のために出張者数が減ったなどの上に、コンチネンタル、ヒルトン、シェラトンなどの外国企業の出店数が多く、供給が過剰になったからです。

しかし地域によって、西安・成都・杭州ではホテル充当が拡大しています。

よもやま話～陰謀

こんな話信じられますか？ ネット検索で調べてみてください。

①リーマンショック

仕組まれたものだ。

②9月11日米国のWTCへの自爆テロ

米国政府が知っていたか仕掛けたものだ。

③東日本大震災

「地震兵器」によるものだ。これはHAARPという施設(兵器)で気象の操作や地震の誘発出来る。HAARPに関する技術の特許取得者はバーナード・イーストランド博士で気象操作により雨の全く降らない地域に雨を降らせたり、集中豪雨を拡散し洪水を防いだりすることは出来る。

④ワクチンビジネス

「子宮頸癌ワクチン、マーク(メルク)社製のガーダシル」はすでに欧米では急遽中止されている。要するに安全性が十分に確認されるまでペンディングされているにも関わらず、日本国内ではそうした事実を無視してワクチン接種を実施したということですが、これは犯罪的ですらある。率先して子宮頸癌ワクチンを接種した女子児童にはお気の毒という他ないが、これもまた無知のなせる業で自己責任というものもやはりある。早晚副作用で苦しむ児童が出てくるはずである。将来的には癌化して死ぬ運命にあるとも言われている代物だから、せいぜい50歳の余命になるのかもしれない。

⑤地球温暖化詐欺、ケムトレイル・偽ユダヤ・イルミナリティ・ロックフェラー
ロスチャイルド、人工削減

…など多くの陰謀説があります。信じる信じないはあなた次第です。

大連出張での話～タクシー

関空から飛行機に乗り、友人が同行して観光したいというので一緒に大連に行きました。

大連空港からラマダホテルまでタクシーを利用することになったのですが、当日空港にタクシーが少なく1台だけ停まっていた。

運転手が「どこまで行くのですか?」と流暢な日本語で聞くので「ラマダホテル」と言うと、150元だというので値上がりしたのかと一瞬考えましたが、確か3ヵ月前には80元と記憶していたので「80元だ」と言うと、120元というので「要らない」と答えると100元にするというので、まあええかと乗り込みました。

このタクシー、一方通行は通るわ、飛ばすわでびっくりしましたがホテルに無事到着しました。知人に聞いてみると、通常は30元から50元で騙されました。分かっているのに事前に調べない私が馬鹿でした…。

私の友人が土産に爪きりセットを買いたいというので、ラマダホテルの前にある勝利広場に行きました。一番手前にある屋台で見ると75元(約1,000円)といます。タクシーの件もありましたから今度は騙されないぞと「要らない」というと、屋台の人にちょっと待ったと引き止めよう…日本人だと思って吹っかけてきている、この屋台を後にして次の屋台でも同じ物を売っている。私は「幾らだ?」と聞くと、45元だというが私は15元に値切ると屋台は30元という。私は20元だったら3個買うという、25元と言うがしつこく粘ると5個買ったら20元にするというので私はOKしました。今度は勝ったね!!

実は以前に爪きりを30個買った事があるんです。その時の値段が1個15元でした。多く買ったのでこの値段です。実は彼らの計算は1個幾ら儲けでは計算していません。全部で幾ら儲かったかを計算しているのです。この話を友人にすると45元(600円)が20元(260円)になる…信じられないとビックリしていました。

歩き疲れマッサージすることにして、友人がホテルの部屋に呼んでというので止めました。理由は料金が高い上に怪しげなマッサージをするからです。大連の知人に聞いて行ったところが「大善保健」2時間180元(2300円)で、頭・足・背中オイル・耳掃除・吸玉・全身マッサージしてこの価格です。

大連に行く時は、ここのマッサージがオススメです!!

私が店のための宣伝を引き受けた訳ではありませんので、安心して行って下さい。

「大善保健」

場所：大連市中山区文林街39号（民主広場経典生活）東海明珠の反対側

日航ホテルのすぐ近くです。

電話：0411-82806477 携帯電話：13998639202

怪しげなマッサージは期待しないでください。揉んでくれるのは40歳位の女性です。

サービス品目：漢方家伝按摩(灸、吸い玉など)、前立腺、糖尿病、静脈炎など改善

足マッサージ、背中踏みなどです。

忘年会などの飲み会が増える季節です。

今年は11月中や12月の始めに済ませるケースが多いらしいのですが、お正月まではお酒を飲む機会も多いのではないのでしょうか？

是非、下記の対策で少しでも身体を大切にしてください!!

二日酔い

まずは、飲酒の機会の多い方のために、二日酔いの解決法についてご紹介します。

二日酔いは予防することができれば、それに越したことはありません。それにはまず、空腹時の飲酒を避け、タンパク質が豊富なものを肴にする、深酒をしないことが基本です。それでも二日酔いが生じたときには、以下のことを試してみてください。

★胃酸を押さえるために胃薬を使う

★水分をしっかりと補給する

★喫煙をしない

★薬局やコンビニでドリンク剤が色々売られていますので、お酒の前に飲む

アルコールは胃酸分泌を亢進し、利尿作用を持っていることも二日酔いに関わっていますので、このような対処法が考えられます。なお、「迎え酒」はアルコール・心理的な作用によって一時的に効いたような気分になりますが、実際には二日酔いを長引かせるだけですので慎みましょう。

50代からは仕事やご近所とのお付き合いなどで、飲酒の機会も格段に多くなる方もいらっしゃるようです。連日連夜の飲酒によって二日酔いどころか三日酔いになっちゃって……という声を耳にすることがありますから、くれぐれもご注意下さい。ちなみに、民間療法では「二日酔いには柿を食べると良い」と言われています。柿の持つ糖分やビタミンなどでアルコール代謝が速まるからということですが、一度試してみませんか？

睡眠不足

睡眠不足は高血圧・肌荒れ・免疫能低下などをもたらし、特に50代からは早めに解決しておかないと、全身の健康状態にも影響してしまいます。お正月の夜更かしによって生じた疲労は、時差ぼけによる症状とよく似ています。どちらも不眠が大きく関わっていますので、根本的な解決法はぐっすり眠ることが一番です。以下の方法を試してみてください。

☆布団と毛布で暖をとる(なるべくエアコンやストーブに頼らない)

☆乾燥に備えて加湿器もしくは濡れたタオルを室内にかける

☆いつもより1時間早く横になる

☆晴れた日はできるだけ外に出かける

この季節、外気が寒いのに比べて朝起きたときの布団の心地よさは、何とも言えないことはご存知の通りです。少しでも睡眠時間(横になっておく時間)を伸ばすために、早寝を心掛けましょう。また、冬は空気が乾燥しやすいため、朝起きたらのが痛くなった、ということも経験されると思います。乾燥した空気は、それだけでもかぜの原因となるウイルスが増殖しやすくなりますので注意が必要です。それからもう1つ、日照時間が少ない冬ですが、防寒対策をしっかりとった上で太陽の光を浴びて、時差ぼけの解消と同じように体内時計を調節しましょう。

中国に関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp